



市民の皆様へ

このたび、市民の皆様に参加をいただいて平成32年を目標に将来の都市計画の基本的な方針となる「都市計画マスタープラン」を策定し、平成18年度からスタートすることになりました。

この計画では、「ゆとりと活力のある生活実感都市 草津」をテーマとして、都市基盤整備の進め方をこれまでの量的整備から質的整備に移行し、市民が真に豊かな生活を実感できる美しいまちを目指しています。同時に「地の利」を活かし、経済的にも社会的にも持続可能な地域社会を創造することとしています。

草津市は昭和29年の市制施行時の人口は、約32,000人でしたが、現在では約115,000人となり、多くの方々が草津に住み・暮らし・働かれています。

市民意識調査によりますと、今後も草津に住み続けたいと考えられている理由として、慣れ親しんでいること、日常生活の利便性が良いことなどがあげられています。

草津に住む人々の知恵や生活と地域固有の素材が相互作用することで、新しい文化が生まれ、市民の皆様は「住んで良かった」「これからも住み続けたい」と感じていただけていると考えており、さらにまちの価値や質を向上させてくれるものと期待しています。

今回、「都市計画マスタープラン」を策定するにあたり、市民の方に積極的に参加していただけるよう、ワークショップ形式を用いた「住民会議」を開催し、広く地域の声を取り入れさせていただきました。

これからのまちづくりは、市民一人ひとりがその主役であり、市民・事業者・行政がそれぞれの役割分担のもと、協力・連携しながら、本市の将来像を共有してまちづくりを進めなければならないと考えています。市民の皆様には、本計画を実現するためのリーダーとして、御活躍いただきますようお願い申し上げます。

結びに、本都市計画マスタープランの策定にあたり、貴重な御意見、御提言をいただきました「草津市都市計画マスタープラン策定委員会」の委員の皆様、また、「住民会議」に参加していただいた方々をはじめ、御協力いただきました多くの皆様から心からお礼申し上げます。

平成18年3月

草津市長 伊庭嘉兵衛